

# 宍道湖流入・流出水調査月報

(平成13年11月期)

## 水質概要

11月の水温は、表1に示すとおり平年値(上層13.2、中層14.0、下層14.4)と比較してほぼ平年並の変動であった。図1に示すように、11月の水温変動は18~10で変動しており、下旬に向かうにつれ徐々に水温下降が見られた。11月13日以降は、上層・下層ともに2~3の低下が見られた。水深による顕著な差異は見られなかった。高塩分水流入時に中層・下層の水温が2程上昇していた。このことは、大橋川を通じて中海からの湖水が流入していることを示す。

11月の塩分は、表1に示すとおり平年値(上層7.9psu、中層9.3psu、下層11.6psu)に比べて、低い値での変動であった。また、11月観測においては、高塩分水の遡上は周期的に確認されたが、15psu以上の高塩分水の流入は4日程度しか観測されなかった。

11月の溶存酸素濃度は、表1に示すとおり上層・下層ともに6.9~11.6mg/lの変動であった。(平均値:上層7.5、中層:欠測、下層:欠測)。常に4mg/l以上の変動が見られ、貧酸素水の流入は見られなかった。図1に示すように、10psu以上の高塩分水の流入時に溶存酸素濃度の低下が見られた。

なお、中層の水質および下層の下旬の溶存酸素濃度については、水質計メンテナンスのため欠測としております。

表1 11月期の水質概要

		水温	塩分	溶存酸素濃度
		( )	(PSU)	(mg/l)
上旬	上層	16.2	3.8	7.6
	中層	欠測	欠測	欠測
	下層	16.3	4.1	欠測
中旬	上層	13.2	3	6.9
	中層	欠測	欠測	欠測
	下層	13.4	3.5	欠測
下旬	上層	12.2	4.7	11.6
	中層	欠測	欠測	欠測
	下層	13	9.2	欠測
月間平均 (11月)	上層	13.9	3.9	7.5
	中層	欠測	欠測	欠測
	下層	14.3	5.7	欠測

(水温・塩分平均値は、島根大学 宍道湖・中海水質月報、1994年4月より引用)

(表の中の数字は、平均値を示す)

## 水質

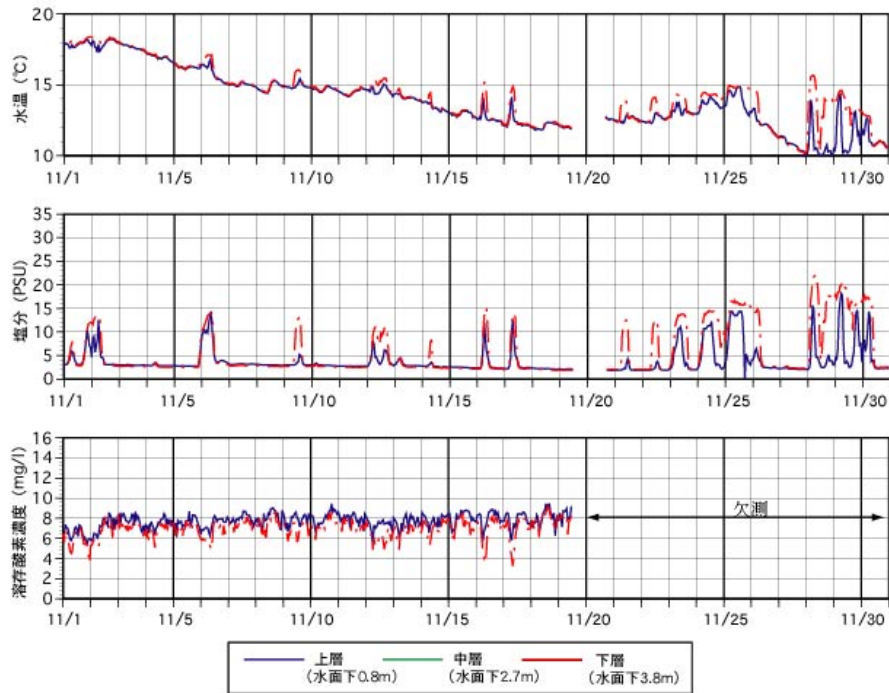


図1 水温・塩分・溶存酸素濃度の時系列変化

## 気象概況

図2に示すように、11月の顕著な気圧変動は、11月3日、6日、25日および29日において急激な低下が見られた。全体として1000hPa以上の変動であった。平均気圧1014.3hPaは、平年値（平年値1020.5hPa）と比較して低かった。表2に示すとおり、11月の日射量は、0.0389MJ/m<sup>2</sup>であり、10月と比較して低い値を示していた（10月平均値：、0.0628MJ/m<sup>2</sup>）。11月の風向・風速は、平均風速2.6m/sec（平年値2.9m/sec,西風）であり、平年並の値を示していた。

表 2 11 月期の気象概要

	気温 ( )	気圧 (hPa)	風速 (m/sec)	風向	日射量 (MJ/m <sup>2</sup> )
上旬	12.7	1016	1.6	南南東	0.0386
中旬	10.1	1014	1.9	南	0.0402
下旬	10.2	1012.8	3	南南西	0.0379
月間平均 (11月)	11	1014.3	2.6	南	0.0389

( 平年値は、平成 13 年気象の暦 ( 山陰版 ) ( 財 ) 日本気象協会中国センターより引用 )

( 表中の数字は、平均値を示す )

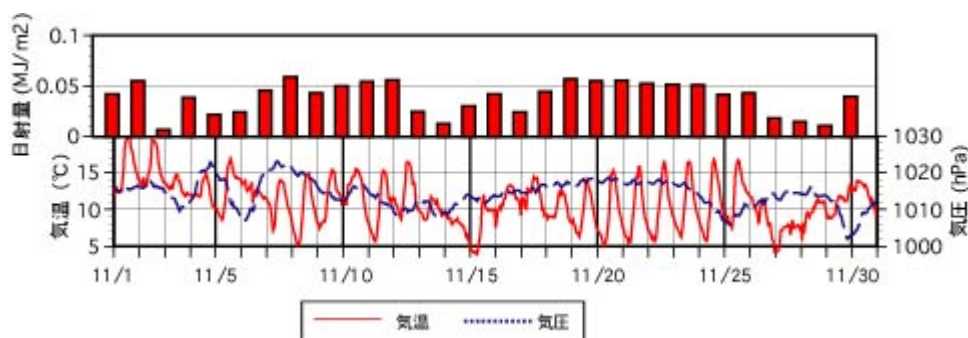


図 2 気温・気圧・日射量の時系列変化

## 流況

11 月の平均東方流速は、上層 18.4cm/sec、中層 16.4cm/sec、下層 15.5cm/sec であった。

11 月の東方流速は、潮汐による往復流は見られ、高塩分水遡上時に中海から宍道湖へ向かう流れが卓越していた。また、全体的に宍道湖から中海に向かう流れが卓越していた。

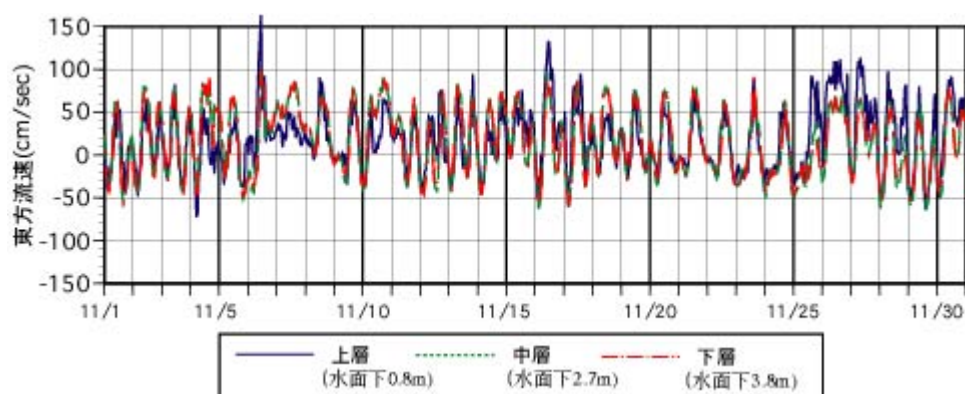


図 3 東方流速の時系列変化

